

# 復興ありがとうホストタウンの取組 福島県南相馬市（ジブチ）

- 福島県南相馬市は、震災時に支援をいただいたジブチ共和国の「復興『ありがとう』ホストタウン」として、2018年2月に市内の空手講師2名をジブチへ派遣し、子どもたちの空手教室を開催した。
- 2018年7月に、ジブチ共和国の子ども達など10人を「相馬野馬追（そうまのまおい）」へ招待。子ども達は、アホメド・アライト・アリ大使が選抜し、ジブチオリンピック委員会のカナノ副会長らが引率を務めた。訪問団は、「相馬野馬追」を観覧したほか、甲冑着付けや南相馬市のロボット産業の体験等も行い、南相馬市の歴史や文化への理解を深めた。
- プロサッカーチーム「福島ユナイテッド」のコーチ陣によるサッカーのワークショップも行われ、ジブチと南相馬の子ども達は、言葉の壁を越えてサッカー交流を楽しんだ。
- 東京大会では競技終了後に選手たちを南相馬市に招待し、市民との交流を行う予定。



300人の生徒や保護者が参加した屋外練習会



南相馬市のロボット産業の体験



甲冑着付け体験で気分はサムライ！



南相馬の子ども達とのサッカー交流